



第14回特別展

二上山・他界との接点

— 奈良時代・貴人の葬地 —



'98
9/26^{SAT} → 11/15^{SUN}

●9:00～17:00(入館は16:30まで) ●月曜日休館

●観覧料

大人300円(250円) 高・大学生200円(150円) 小・中学生150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金

香芝市
二上山博物館

NIJHOSAN MUSEUM KASHIBA-CITY

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

香芝市ふたかみ文化センター内

TEL: 0745-77-1700 FAX: 0745-77-1601

第14回特別展

二上山・他界との接点

— 奈良時代・貴人の葬地 —

後援：歴史街道推進協議会

協力：香芝市二上山博物館友の会・ふたかみ史遊会

日本では8世紀初頭から火葬が始まります。これは、『続日本紀』の道昭火葬(700年)の記事や文祢麻呂の墓誌銘(707年)からも推定できますが、全国に普及する決定的な影響を与えたのは天皇の火葬です。703年、天皇として最初に火葬されたのは持統天皇で、以降、文武・元明・元正と歴代の天皇が次々と火葬されました。これにならい、皇族・貴族間にも急速に広まっていきました。



二上山周辺の火葬墓は、香芝市穴虫から江戸時代に発見され、高台付の球形容器に391文字の銘を刻む国宝金銅威奈大村骨蔵器に代表されます。その他穴虫では、昭和30年に凝灰岩製石櫃が発見され、最近では2人ないしは3人の複数を埋葬したと考えられる高山火葬墓が検出されました。當麻町加守では、金銅製骨蔵器、新庄町でも火野谷山の銅製骨蔵器などが知られています。大阪府側では、太子町で重文高屋連枚人墓誌、重文紀吉継墓誌、春日山南斜面や吉田山からも凝灰岩製石櫃が発見されています。また、柏原市でも国宝船首王後墓誌などが発見されています。

このうち墓誌だけみても、全国で19例しか知られていないなかで、4例が二上山周辺から発見されており、飛鳥～奈良時代にかけて、二上山麓が古代官人の公葬地として強く意識されていたことがわかります。

第14回特別展は、二上山麓の火葬墓を一つの文化圏として位置づけることが可能かどうか、奈良県内の他の地域の火葬墓をあわせて展示し、検証します。

表紙写真：国宝金銅威奈大村骨蔵器（複製品）

Information

太子町立竹内街道歴史資料館 平成10年度企画展

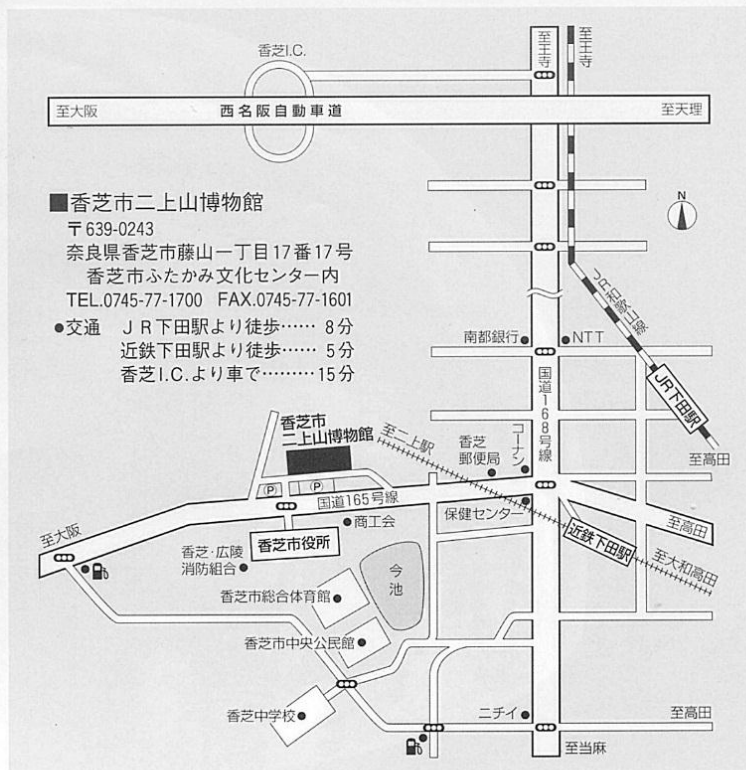
「西国巡礼と葉室組行者」 —三十三度の旅の祈り—

平成10年9月23日(水)～12月6日(日)

太子町立竹内街道歴史資料館

大阪府南河内郡太子町大字山田1855番地
TEL.0721-98-3266 FAX.0721-98-3279

●最寄り駅からの略図



■香芝市二上山博物館

〒639-0243

奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

香芝市ふたかみ文化センター内

TEL.0745-77-1700 FAX.0745-77-1601

- 交通 JR下田駅より徒歩……8分
近鉄下田駅より徒歩……5分
香芝I.C.より車で……15分

特別展記念講演会

■10月3日(土) 14:00～16:00

「検証・越後の威奈真人大村」

坂井秀弥氏（文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官）

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

■10月11日(日) 14:00～16:00

「検証・大和の威奈真人大村」

和田 萃氏（京都教育大学教授）

会場：香芝市ふたかみ文化センター・第1～3会議室

■11月8日(日) 14:00～16:00

「大和・葛城と火葬の文化」

水野正好氏（奈良大学学長）

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

★いずれも事前の申し込みは不要ですが、当日発行の二上山博物館特別展観覧券が必要です。聴講無料。

■地域文化クローズアップ事業 第2回特別講演会

11月15日(日) 14:00～16:00

「古鏡からみた葛城と大和政権」

樋口隆康氏（京都大学名誉教授・奈良県立橿原考古学研究所所長）

会場：香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール

主催：香芝市、香芝市教育委員会

後援：歴史街道推進協議会

協力：香芝市二上山博物館友の会・ふたかみ史遊会

★事前の申し込みは不要です。聴講も無料です。